

STONE SOUP

Mishima-Kita High School SGH Newsletter

March 20, 2015 No. 2

SGH 課題研究の成果を発表!

平成 27 年 1 月 23 日 (金) に沼津市の「プラサ・ヴェルデ」にて、平成 26 年度 SGH 事業報告会が開催された。全国から集まった約 100 名の参加者の前で、海外研修で課題研究を行ってきた本校 12 名の生徒がその成果を発表した。SGH は将来のグローバル・リーダーの育成を図るため、「社会課題に対する関心と深い教養、問題解決力、コミュニケーション能力」を、課題研究を通して身につけることを目標としている。

本年度の海外研修では、「水問題」について探求する活動を、事前・現地・事後の研修を通して行った。水問題の専門家である橋本淳司氏によるファシリテーションのもと、生徒は主にグループでディスカッションを行いながら、自ら設定した課題に取り組んだ。また、アクティビティを通して、水についての教養を深めていった。三島市やその周辺の地方自治体や企業が取り組んできた水問題についても調べ、来校した米国やシンガポール

の学生との質疑応答も経験した。また、国内のフィールドワークとして地域の川や東レの水処理施設、東京大学の沖研究室やサントリー、静岡科学館や浜松科学館等を訪問した。シンガポール現地研修では、日本水フォーラムから紹介された様々な水問題に関連する先進的な施設を訪問し、講義を受け見学を行った。

研究の主な成果としては、グループで設定した課題について、ポスターにまとめたほか、地域の水問題についてのプレゼン、水問題に関するスピーチ、シンガポールでのフィールドワークのプレゼンも作成した。これらは全て英語である。この研修に参加した生徒の大半は英語ディベートにも取り組んでおり、そこでの実践も生かした。

第 1 年次ということで、試行錯誤も多く課題は山積しているが、いくつかの収穫も得た。参加者からは、「生徒の発表、特にポスターセッションでの生徒の質疑応答が実に素晴らしかった。」「予備

静岡県立三島北高等学校平成 26 年度スーパーグローバルハイスクール (SGH) 事業報告会

- ・ オープニング劇 演劇部
- ・ 校長挨拶・県教育委員会指導主事挨拶、趣旨説明
- ・ SGH 事業説明
- ・ 生徒発表 (英語による)
 - (1) 「地域の水問題」プレゼンテーション
 - (2) シンガポール・フィールドワーク報告
 - (3) 「私の考える水問題」スピーチ
 - (4) 「私たちの考える水問題」プレゼンテーション
- ・ ポスターセッション
- ・ 授業体験
- ・ 学校設定教科・シラバス説明
- ・ 質疑応答
- ・ 講評 SGH 推進会議委員
- ・ 閉会

期間の成果としては十分に『水』の学習を進めていると感じた。」等の意見が出された。また、発表した生徒からは、「海外現地研修が特に良い経験だった。(意見多数)」、「大変だった分、得るものが多かった。充実した一年だった。」「ポスター完成まで時間がかかって大変だったけど、褒められて嬉しかった。」「コミュニケーション能力が付き、課題を自分なりに解決できた。」等の感想が寄せられた。

指導していただいた橋本淳司氏からは次のようなコメントをいただいた。「生徒は本当によくやった。生徒の変容が先生方の力になるはず。ファシリテーターとしてのお手伝いのできたのではないか。まだこの事業は緒に就いたばかり、これから大いに改善しさらによくなる可能性を秘めている。生徒たちの潜在能力と学校の姿勢が素晴らしい。今後もできる限り協力したい。」

(SGH 担当教諭・平井剛)



左写真: 水問題に関する英語スピーチ、右写真: 来場者とのポスターセッション

1. 1年生全員が課題研究を実施

「世界の水問題」についての課題研究に取り組みました。平成26年10月15日には、水教育の専門家の指導の下、1年生287人がグループごと課題を設定する活動を行いました。また、学校図書館にある水に関する書籍などを活用して、問題点と根拠を論理的に構成していきました。生徒は深い学びを経験し、学校設定教科での課題研究の先行事例となりました。



2. 第9回高校生英語ディベート大会静岡県大会に出場

国際交流室に所属する1、2年生9人が、英語ディベートに取り組みました。11月2日の県大会では6校8チームが英語ディベートの力を競い、本校チームは4位に食い込みました。

●いろいろな角度で物事が見られるようになりました。忙しかったが限界近くまでがんばれたし、必死に取り組むことの楽しさを知りました。英語だけでなく、何事にも向き合って克服したいです。(25HR・阿部加奈恵、27HR・工藤由佳)

3. 異文化理解講座を開催

主に近隣大学に在籍する留学生を招き、出身国の文化とともに現地の水事情などを紹介していただきました。今年度は3回開催し、「ベトナム」、「(カナダ人が見た)中国、香港、ラオス」、「ミャンマー」をテーマとしました。

4. 来日したシンガポールの高等専門学校ナンヤン・ポリテクニック (NYP) の学生と交流

12月19日、NYP学生との交流会を生徒主催で開催しました。歓迎会では書道部と箏曲部がパフォーマンスを繰り広げ、部活動体験では弓道部に協力いただきました。その後、国際交流室の生徒がNYP学生と水に関する課題研究のポスターセッションを行いました。また、生徒・教職員7人の家庭にNYP学生13人がホームステイしました。



●ホームステイで来た学生はイスラム教徒でした。食事を共にしてハラル食が意味のあることだとわかりました。毎日の礼拝のことも説明してくれました。彼女らが宗教をいかに大切にしているか知ることができました。(36HR・木村愛子)

5. 東京大学とサントリーを訪問

12月25日、「水の魅力に触れるツアー」を実施し、生徒6人が参加しました。東京大学生産技術研究所を訪ね、沖大幹教授から「水文学」について話をうかがいました。サントリーホールディング(株)では、企業の地域貢献のスタンスを知ることができました。

6. 平成26年度 第2回静岡県立三島北高等学校 SGH 推進会議を開催

平成27年1月23日、第2回SGH推進会議を沼津市の「プラサ・ヴェルデ」で開催しました。本校から今年度の事業報告と来年度の計画について説明を行った後、推進会議委員から意見を伺い、今後の活動に活かしていくこととしました。

7. 東京大学企画 SGH 対象ワークショップ (WS) に参加

2月14日、名古屋市で開催されたWS「持続可能な開発目標 (SDGs) とポスト2015年開発アジェンダ」に4校から50人が集まり、「将来の夢と社会貢献」について話し合いました。本校から参加した2人は、各グループを代表して発表するなど、議論の活発化に貢献しました。



●いままで気づけなかった「公正」と「公平」について考えることが重要だと思いました。自分の考える水問題の解決に向けてヒントを得ることができました。他のSGHの生徒と深い話し合いができて楽しかったです。(27HR・山田つきみ)